



特集

「松本城三の丸エリアビジョン」 骨子案

～10の界隈から始まる世界水準の歴史観光エリア～

●問い合わせ お城まちなみ創造本部 (☎34-3276 ㊚34-3277)

国宝松本城を中心とした市街地の将来像を示す「松本城三の丸エリアビジョン」の骨子案がまとまりました。ポイントは、松本城周辺を10カ所の「^{かいわい}界隈」(The Power of 10)に分け、その界隈ごとに特色のあるまちづくりを公民連携により進めることです。世界に発信できる歴史観光エリアを目指します。

※ビジョンの詳細は、市ホームページをご覧ください。松本のまちなかについての小・中・高校生アンケートの結果も掲載しています。



市ホームページ

— も く じ —

新年のごあいさつ	2
特集 松本城三の丸エリア ビジョン骨子案	4
まつもと公設民営バス	8
新型コロナ第5波検証	10
新型コロナワクチン接種情報	11
市民税等の申告受け付け	12
次代へつなぐ美しいまちなみ	14
パブリックコメント募集、 生理用品の配布	15
情報チャンネル	16
2月の相談日	24
今月の一枚、まつもとの味	25
氷彫フェスティバル2022、 国宝松本城ナイトツアー	26

市民の皆さんとともに

これまでのまちづくりは、行政が「つくる」側の主体となり、方針や計画を描きハード整備を実施し、できあがったモノを維持管理しながら活用方法を検討することが一般的でした。

しかし、これからは、エリアの将来を担う民間の「つかう」側が主体性をもってビジョンにかかわることが重要です。

ビジョン実現に向けて公民が連携し、実証実験・検証を重ね、それを各種計画やハード整備に反映することによって、地域に根差したまちづくり・事業を展開することが可能となります。

今回の骨子案策定にあたり、これまで地元の皆さんとの意見交換を重ねてきました。令和4年3月末までに将来像を具体化してビジョンを策定します。

目指すまちのすがた

かつてのまちの姿を復元するだけではありません。**地元の方々の活気のある日常に、来街者がひかれて集まるような場**を目指します。

公民連携により実現 /

地元の人々の「暮らしの場」
独自の魅力ある「観光の場」

目指すまちのすがた /

世界水準の歴史観光エリア

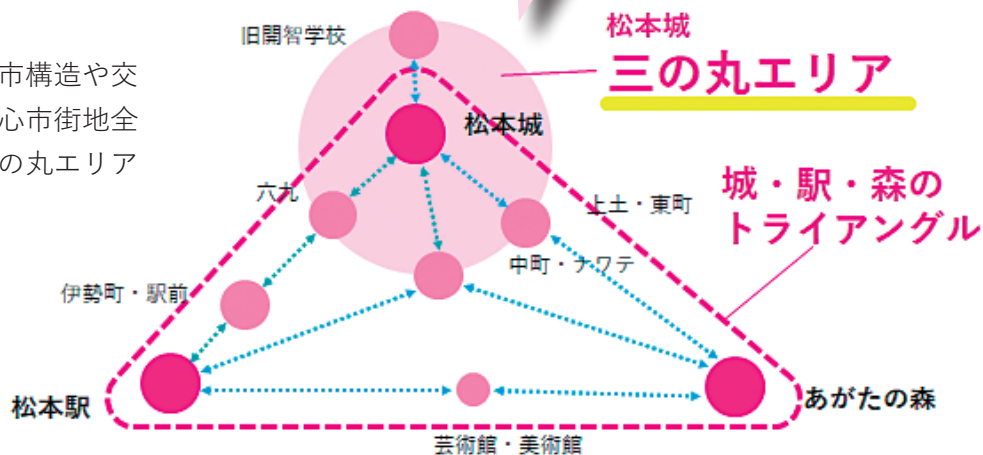
- その都市の暮らしに根ざした深い文化が感じられる
- その都市ならではの「とびきりの体験」ができる
- 「一時的市民」として、暮らすように過ごせる

松本城三の丸エリアの位置づけ

中心市街地の回遊動線の骨格となる**松本城・松本駅・あがたの森を結ぶトライアングル**の一角に「松本城三の丸エリア」があります。

トライアングル全体の都市構造や交通体系を把握した上で、中心市街地全体の魅力向上につながる三の丸エリアの将来像を提示します。

かつて総堀で囲まれた松本城三の丸と、昭和に入り移築された旧開智学校周辺を合わせて「**松本城三の丸エリア**」としています。



エリアビジョンと並行して
進めていきます

松本城周辺の公共事業の動き (予定)

- ◆ 令和4年6月末 基幹博物館完成 (令和5年秋開館)
- ◆ 令和4年度末 外堀大通りが2車線相互通行へ
- ◆ 令和5～7年度 外堀・内堀・総堀の浚渫しゅんせつ
- ◆ 令和7年度 南・西外堀復元に着手



▲基幹博物館完成イメージ



◀外堀大通りの歩行者空間イメージ

次ページで

10の界限

を紹介します！

2/23(祝)「多事争論会×シンポジウム」

「松本城三の丸エリアビジョン」をテーマに開催します。
申し込み方法などの詳細は「広報まつもと2月号」に掲載します。

“The Power of 10”

広範のエリアを一括りにせず10カ所に分け、ビジョンを検討しています。
多様な主体が、複数の境界で小さくプロジェクトを進め、それが集積し
相乗効果を生むことによって、エリア全体の価値を高めます。

① 地蔵清水・柳町界隈（市役所周辺）

公園 - 道路 - 公有地が一体となった
エリアの象徴的な場の創出



現在は意識されていない本来の登城ルート（大名町～太鼓門～天守）を顕在化し、歴史を生かした新たな魅力を創出します。

広く市民や来街者に開いた「パブリックな広場」と位置づけ、将来的には公民連携による新たな施設等を配置するなどして、「松本の街の新たなシンボル」とします。

松本の大きな進歩につながる

太鼓門から入城するルートが実現すれば、訪れた方が北アルプスを背景にした天守をより印象的に感じられます。また、お城の東側に隣接するスペースも活用できれば、大きな魅力になるはずです。

これからのまちづくりは、とにかく若い皆さんに積極的に参画していただき、私たちは皆さんを支えていきたいです。

藤村吉彦さん／
中央地区連合町会長

30年以上、
中心市街地の
まちづくり
に携わる



④ 大名町通り界隈

人中心の
「シンボルロード」を実現



バリアフリーに配慮した、段差のないフラットな道路整備、歩くのが楽しくなる沿道店舗の誘導などを行い、地元が主体となった持続可能な活用と運用を実現します。



シンボルロードから生まれる回遊性

誰もが楽しめ、ゆったりと人が行き交う通りを目指します。松本城につながる大通りなので“背骨”的要素があります。大名町を中心に、他の界隈への回遊性につながればと考えています。

このわくわくするビジョンを実現できるよう、他の界隈の皆さんとコミュニケーションを取りながら進めていきます。

5年程前に
三の丸倶楽部
を立ち上げ、
大名町通りの
活用を検討



齊藤忠政さん／松本城・三の丸倶楽部座長

② 松本城大手門跡界限

民間建物や
公共空間を活用した
文化的活動の集積・発信

③ 松本城南・西外堀／外堀大通り界限

松本城天守 - 外堀 - 北アルプスを
体感する **新たな活動の場**の創出

⑤ 松本城二の丸界限(松本城公園)

松本城の**歴史的価値**と
都市公園の
自由な空気との調和

⑥ 女鳥羽川界限

暮らしの一部として
水と緑に触れ合う風景の創出

⑦ 旧開智学校／図書館界限

旧開智学校と図書館を軸とした
日常の憩いの場を創出

⑧ 上土・緑町界限

地元の銘店や
建造物などを活かした
地域活動の促進

⑨ 土井尻界限

暮らしの環境を整え、
来街者も楽しめる
界限性を向上

⑩ 鷹匠町・北馬場界限

空き店舗などを活用した
暮らし・観光との接点の創出

